

データシート

業 種	バス
取組分野	事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用
テーマ	事故等に関する情報の活用に関する取組み
取組の狙い	ハード対策及びソフト対策を積極的に推進するとともに、「300X 運動」等を展開し、事故防止を図る
具体的内容	<p>中国ジェイアールバス(株)では、事故を確実に減少させるため、ハード対策及びソフト対策を積極的に推進し、平成 14 年度から毎年事故数が減少しており、事故防止に以下に掲げる効果的な措置を講じています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハード対策として、乗務員の提言によるディスチャージヘッドライトや全車両へのドライブレコーダー及びデジタル式運行記録計を導入し、安全対策の確実な実行を図っています。 2. ソフト対策として、ドライブレコーダーとデジタル式運行記録計を組み合わせ、解析ソフトを利用した事故、ヒヤリ・ハット情報の分析と乗務員の教育・指導及び共有すべき安全情報の水平展開を行い、全社的な事故防止に取り組んでいます。 3. 社内における「事故の芽」等の報告制度として、「300X(ばってん)運動」(報告様式を定め、収集した情報を分類・整理し管内の注意箇所示したマップ等を作成・掲示)を展開し安全推進委員会や事故防止検討委員会で対応を検討するとともに、要注意箇所マップを作成し乗務員等の関係者に情報の周知・活用を図っており、年間1300件程度の報告が寄せられ、報告者に褒美を与えています。 4. 他社の事故等を「他山の石」として自社の安全対策に活用し、事故防止に積極的に取り組んでいます。 5. 事故件数・類型等の統計、調査・分析結果について、社内に周知し、安全意識の啓蒙と高揚を図っています。
取組の効果	<p>上記取組みにより、平成14年度の事故数139件が平成20年度では52件と減少しています。</p> <p>(※上記事故件数は、軽微な有責事故すべてを含んだ数字)</p> <p>また、事故件数・累計等グラフ化し、掲示(安全コーナー)することによる可視化効果により、社員の安全意識が向上した。</p>
事業者名	中国ジェイアールバス(株) (連絡先:082-261-1268)